



2021年3月期 決算説明会

2021年5月27日（木）

 **高島株式会社**



1. 高島グループ 会社概要

2. 2021年3月期 決算概況

2-1.連結業績

2-2.セグメント別概況

2-3.配当性向推移

3. 2022年3月期 連結業績予想および配当予想

3-1.2022年3月期 連結業績予想

3-2.2022年3月期 配当予想

4. 中期経営計画「サステナX（クロス）」進捗

4-1.企業理念

4-2.テーマ

4-3.重点戦略

4-4.ダントツ戦略注力領域

4-5.重点戦略進捗状況

4-6.最終年度計数目標

1. 高島グループ 会社概要

創業	1915年10月
本社所在地	東京都千代田区神田駿河台2-2 御茶ノ水杏雲ビル
資本金	38億127万円
上場開始	1949年（東京証券取引所）
発行済株式総数	4,546,173株（単元株式数100株）
決算期日	3月31日

2. 2021年3月期 決算概況

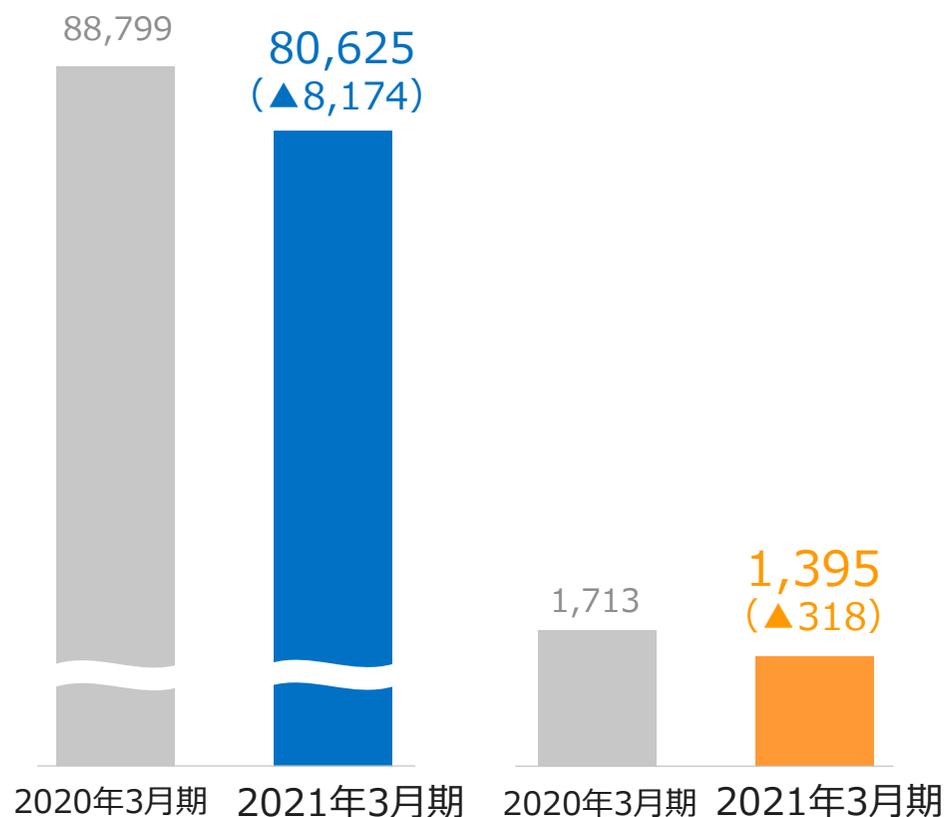
2-1. 連結業績_売上高・営業利益



売上高・営業利益ともに減少

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)



売上高

80,625百万円
(前期比 90.8%)

営業利益

1,395百万円
(前期比 81.4%)

2-1. 連結業績_経常利益・当期純利益



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益ともに減少

経常利益
(百万円)

当期純利益
(百万円)

経常利益

1,513百万円

(前期比 84.8%)

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,000百万円

(前期比 80.8%)



2-1. 連結業績_PL概況



新型コロナウイルス感染症の影響により
売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は減少

(単位：百万円)

科目	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
売上高	88,799	80,625	▲8,174	90.8%
売上総利益	8,507	7,838	▲669	92.1%
販売費及び一般管理費	6,794	6,443	▲351	94.8%
営業利益	1,713	1,395	▲318	81.4%
営業外損益	71	118	+47	166.7%
経常利益	1,784	1,513	▲270	84.8%
特別損益	29	▲1	▲30	▲6.3%
税金等調整前 当期純利益	1,813	1,511	▲301	83.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,237	1,000	▲237	80.8%

2-1. 連結業績_BS概況

売上高減少に伴い、流動資産・流動負債が減少

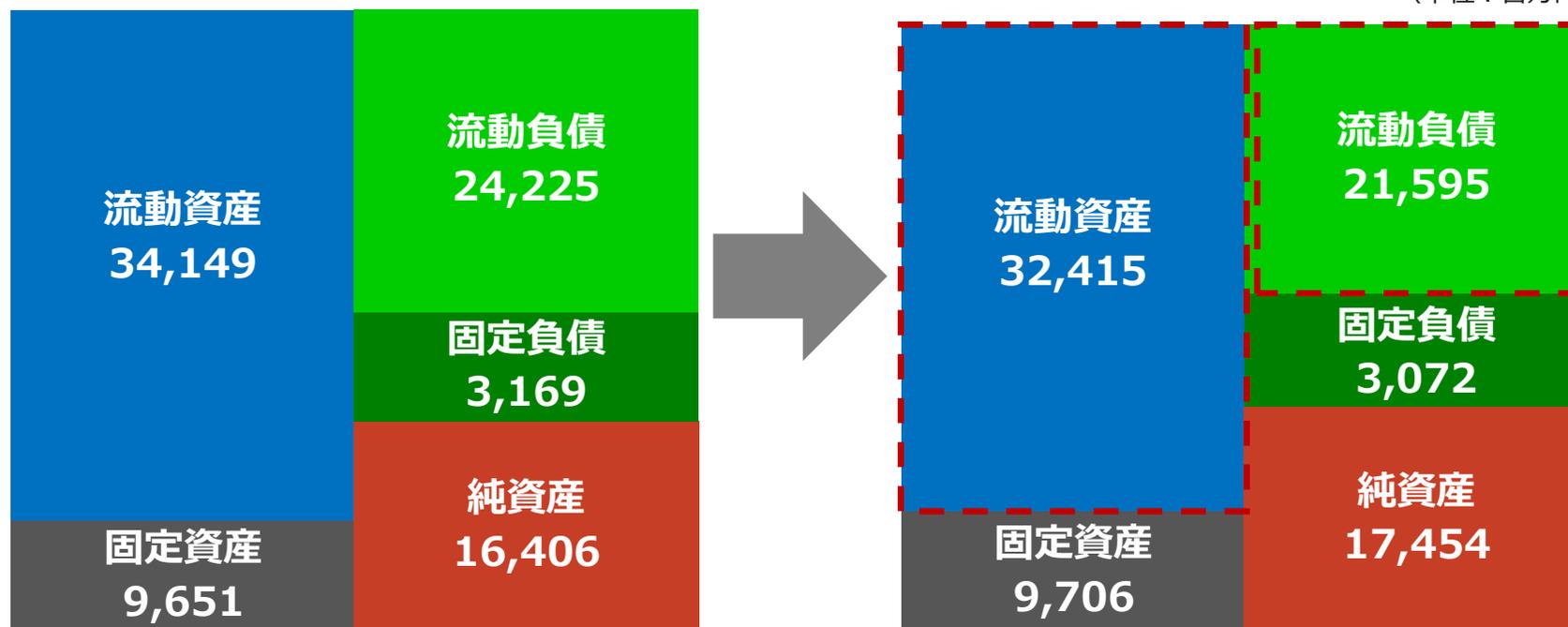
前連結会計年度
(2020年3月31日)

総資産：43,800百万円
自己資本比率：37.5%

当連結会計年度
(2021年3月31日)

総資産：42,121百万円
自己資本比率：41.4%

(単位：百万円)



2-1. 連結業績_CF



営業CF：税金等調整前当期純利益の計上、売上債権の減少によりプラス

投資CF：有形固定資産の取得によりマイナス

財務CF：短期借入金の減少、配当金の支払いによりマイナス

(単位：百万円)

科目	2020年3月期	2021年3月期	増減額
営業キャッシュフロー	3,018	3,563	+545
投資キャッシュフロー	▲594	▲98	+496
財務キャッシュフロー	▲1,108	▲1,947	▲839
現金及び 現金同等物の残高	4,416	5,880	+1,464

2-2. セグメント別概況_建材（売上高・営業利益）



売上高・営業利益ともに減少

売上高
(百万円)

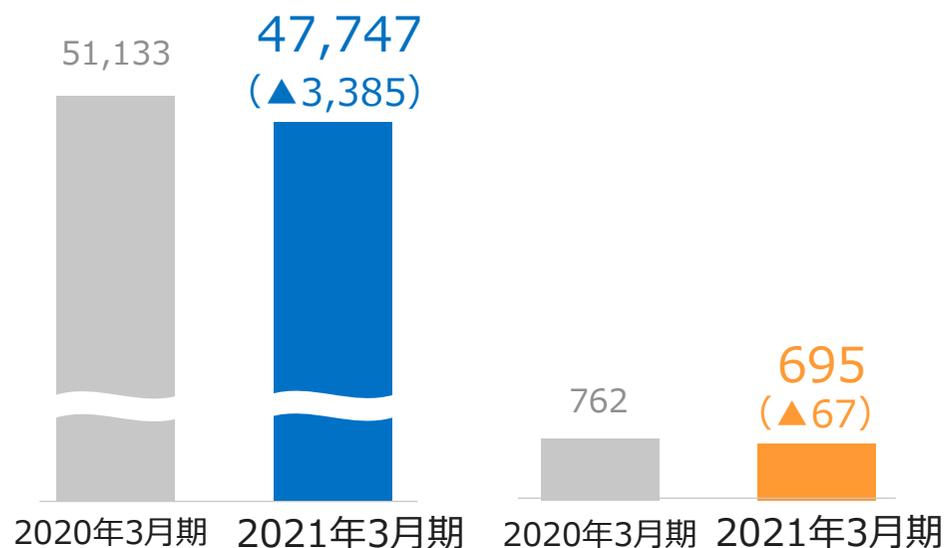
営業利益
(百万円)

売上高

47,747百万円
(前期比 93.4%)

営業利益

695百万円
(前期比 91.2%)



2-2. セグメント別概況_建材（分野別売上高）



両分野ともに新型コロナウイルス感染症による影響を受けて売上高は減少

（単位：百万円）

分野	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比	要因
建設資材	38,987	37,905	▲1,081	97.2%	・市場全体への感染症の影響
太陽エネルギー	12,145	9,841	▲2,304	81.0%	・固定買取価格の引き下げ等の影響
合計	51,133	47,747	▲3,385	93.4%	・両分野ともに感染症による市場影響を受け減少

2-2. セグメント別概況_産業資材（売上高・営業利益）



売上高・営業利益ともに減少

売上高
(百万円)

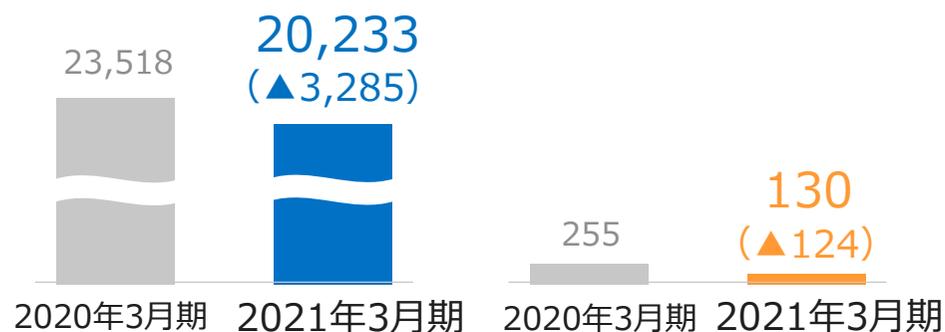
営業利益
(百万円)

売上高

20,233百万円
(前期比 86.0%)

営業利益

130百万円
(前期比 51.2%)



2-2. セグメント別概況_産業資材（分野別売上高）



全分野において新型コロナウイルス感染症による影響を受けて売上高は減少

（単位：百万円）

分野	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比	要因
樹脂	7,856	7,210	▲645	91.8%	・樹脂分野への影響は比較的軽微であったもののその他分野は大きく影響を受け減少
機能資材	1,720	1,150	▲569	66.9%	
繊維	12,257	10,624	▲1,633	86.7%	
車輻部材	1,684	1,248	▲436	74.1%	
合計	23,518	20,233	▲3,285	86.0%	

2-2. セグメント別概況_電子・デバイス（売上高・営業利益）



世界的な新型コロナウイルス感染症の影響拡大による急激な落ち込みにより
売上高・営業利益ともに減少も市場状況は回復傾向

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)

売上高

12,374百万円
(前期比 89.3%)

営業利益

457百万円
(前期比 82.2%)



2-2. セグメント別概況_賃貸不動産（売上高・営業利益）



大規模修繕および保有不動産の売却の実施により
売上高・営業利益ともに減少

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)

売上高

268百万円

(前期比 91.9%)

営業利益

111百万円

(前期比 80.3%)



2-2. セグメント別概況_サマリー



全セグメントにおいて売上高・営業利益は減少

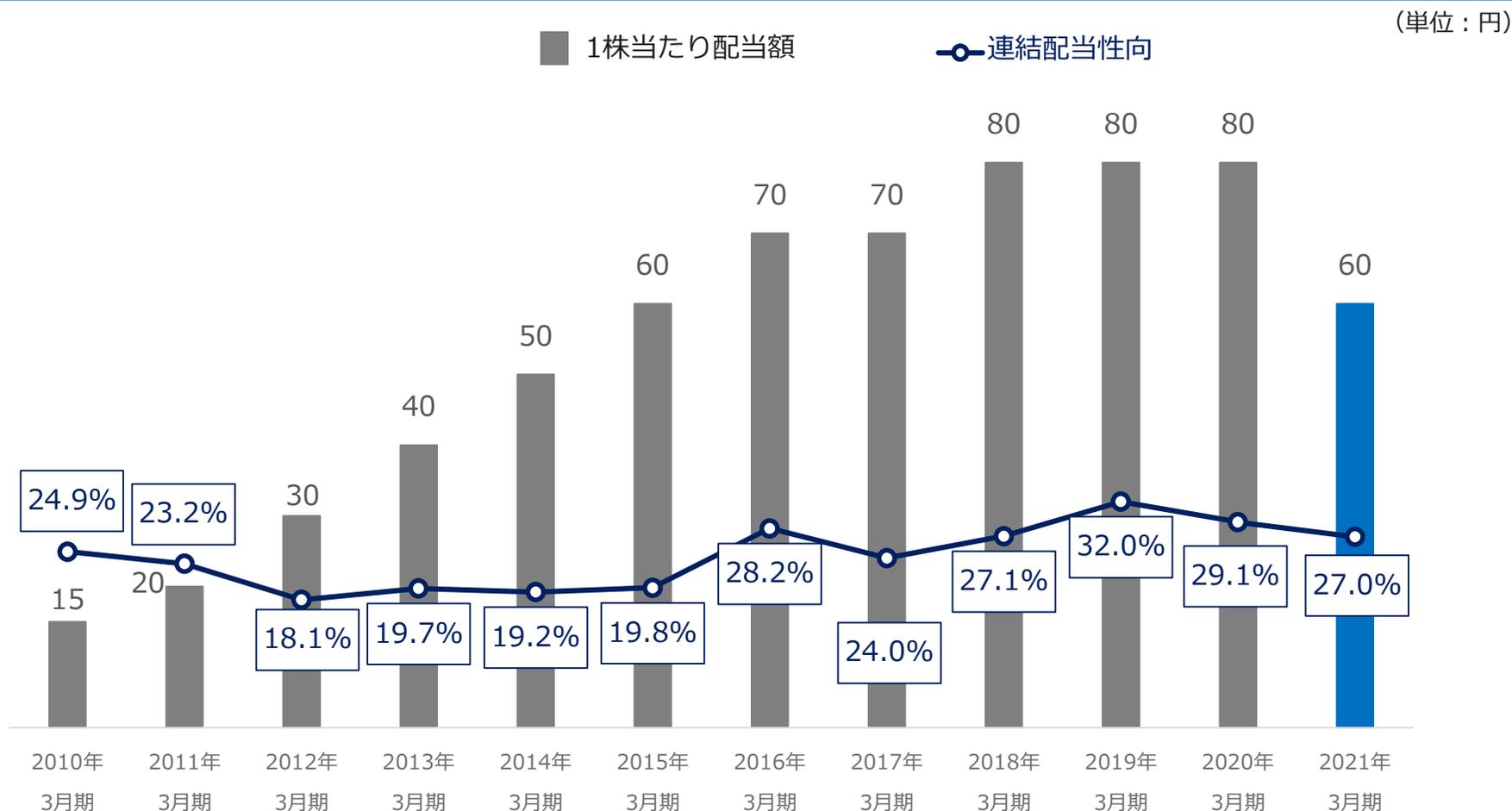
(単位：百万円)

セグメント	科目	2020年3月期	2021年3月期	増減額	前期比
建材	売上高	51,133	47,747	▲3,385	93.4%
	営業利益	762	695	▲67	91.2%
産業資材	売上高	23,518	20,233	▲3,285	86.0%
	営業利益	255	130	▲124	51.2%
電子・デバイス	売上高	13,854	12,374	▲1,479	89.3%
	営業利益	556	457	▲98	82.2%
賃貸不動産	売上高	292	268	▲23	91.9%
	営業利益	138	111	▲27	80.3%
合計	売上高	88,799	80,625	▲8,174	90.8%
	営業利益	1,713	1,395	▲318	81.4%

2-3. 配当性向推移



2021年5月12日公表「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」
記載のとおり、1株当たり60円の期末配当



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2016年度以前の1株当たり配当額は、株式併合後の金額で表示

3. 2022年3月期 連結業績予想 および 配当予想

- ・ 2022年3月期の期首より、
「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用する
ため、連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額と
なっており、対前期増減率は記載しておりません。

3-1. 2022年3月期 連結業績予想



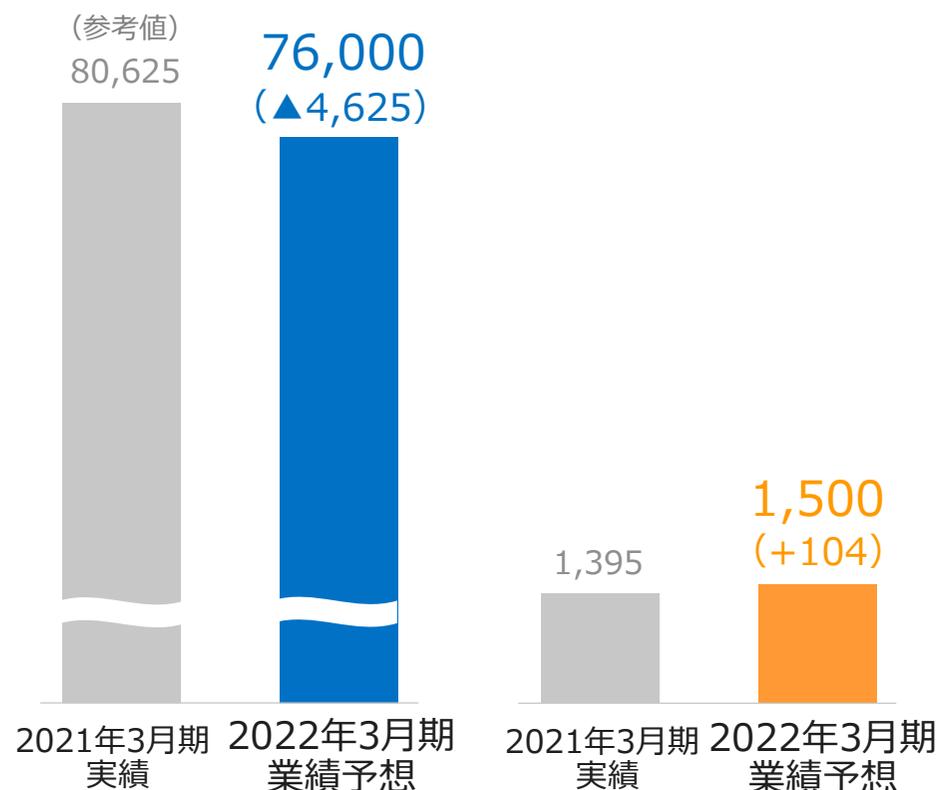
営業利益は増加見込み

売上高
(百万円)

営業利益
(百万円)

売上高

76,000百万円
(前期比 -%)



営業利益

1,500百万円
(前期比 -%)

経常利益・親会社に帰属する当期純利益ともに増加見込み

経常利益
(百万円)

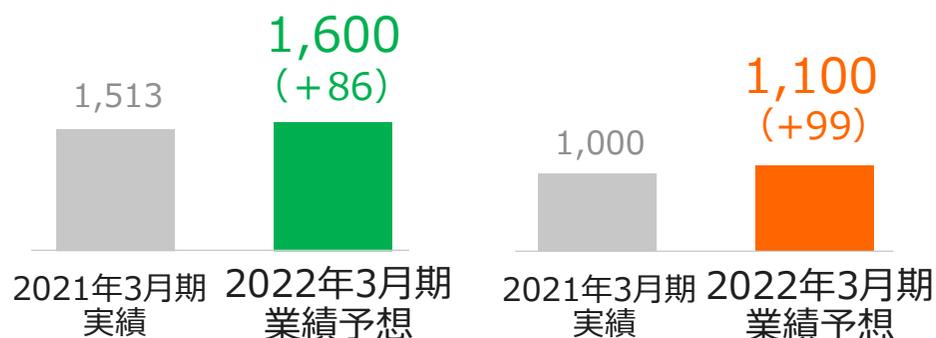
純利益
(百万円)

経常利益

1,600百万円
(前期比 -%)

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,100百万円
(前期比 -%)



3-1. 2022年3月期 連結業績予想



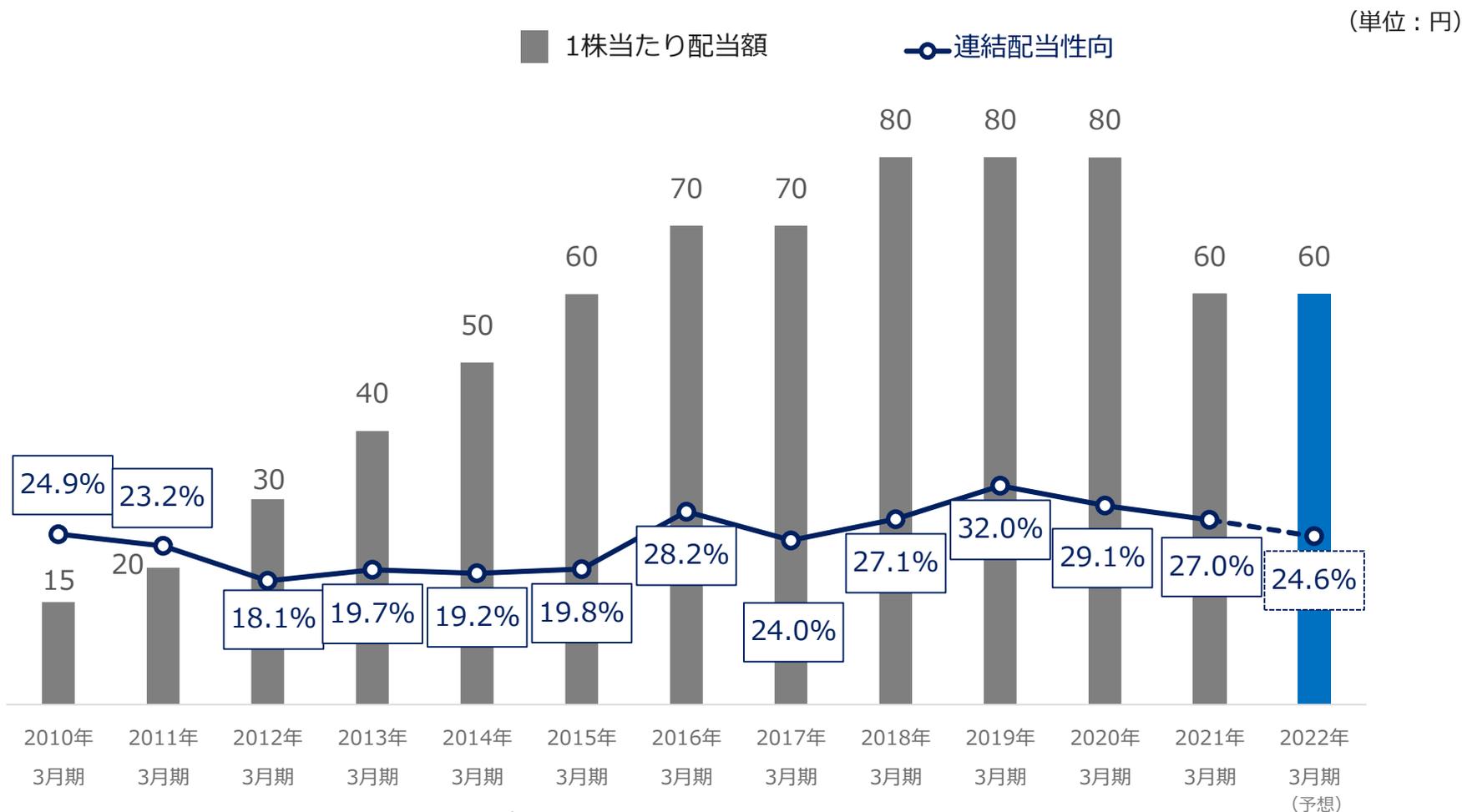
(単位：百万円)

科目	セグメント	2021年3月期 実績	2022年3月期 業績予想	増減額	前期比
売上高	建材	47,747	39,470	▲8,277	—
	産業資材	20,233	22,660	+2,426	—
	電子・デバイス	12,374	13,660	+1,285	—
	賃貸不動産	268	210	▲58	—
	合計	80,625	76,000	▲4,625	—
営業利益	建材	695	700	+4	—
	産業資材	130	200	+69	—
	電子・デバイス	457	500	+42	—
	賃貸不動産	111	100	▲11	—
	合計	1,395	1,500	+104	—
経常利益	—	1,513	1,600	+86	—
親会社株主に 帰属する当期純利益	—	1,000	1,100	+99	—

3-2. 2022年3月期 配当予想



業績予想を踏まえ 1株当たり60円の期末配当を予定



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2016年度以前の1株当たり配当額は、株式併合後の金額で表示

4. 中期経営計画「サステナX（クロス）」進捗

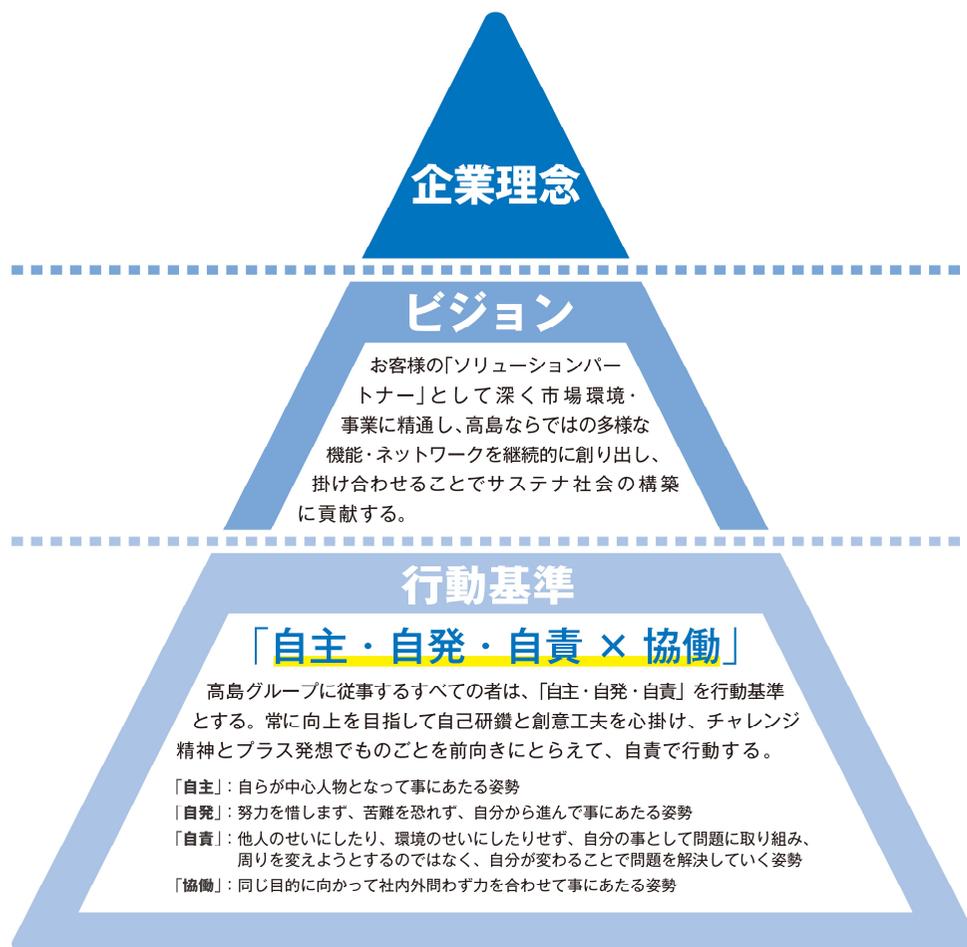
4-1. 中期経営計画「サステナX（クロス）」_企業理念



企業使命 「**事業を通じて社会に貢献する**」

経営姿勢 「**誠実一筋**」

高島グループは、オリジナルな発想を活かし、高島グループならではの方法で社会にアプローチし、積極的に世の中に役立っていきたい。そして、世の中に役立つことにより、その結果として高島グループも発展する・・・そんな企業グループでありたい。



高島グループのありたい姿として、「**ビジョン**」を明確化

行動基準に「**×協働**」を追加

中期経営計画 サステナXクロス

サステナ2020

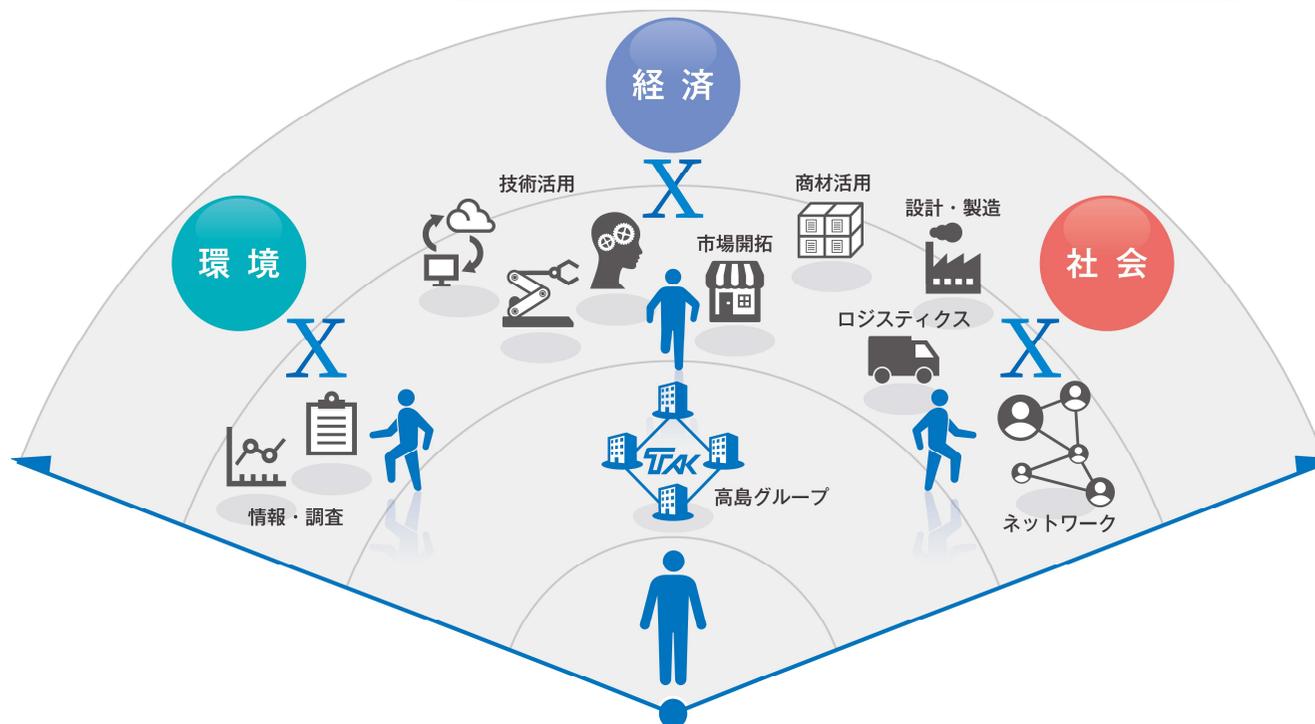
(2016-2019)

持続的成長を継続するための
事業構造・ポートフォリオ転換

サステナXクロス

(2020-2022)

「サステナ2020」の基本戦略を継続しつつ、機能
形成を深化し、持続的成長を継続するための事業
構造・ポートフォリオ転換を図る



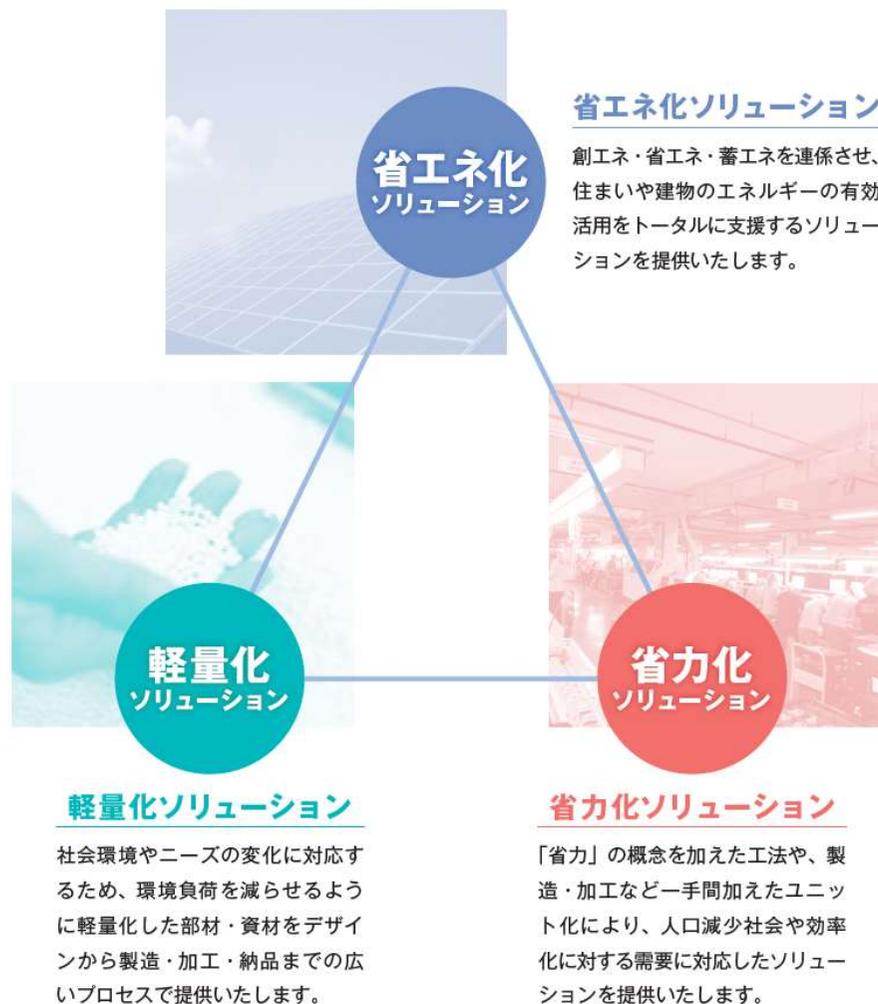
ダントツ戦略

**コーポレート・
ガバナンス強化**

生産性向上

4-4. 中期経営計画「サステナX（クロス）」_ダントツ戦略注力領域

「省エネ化」「軽量化」「省力化」を注力領域とし、
それぞれの領域で当社ならではの「ソリューション」を提供



進捗状況

ダントツ戦略



- ・注力領域に対し、グループ機能を掛け合わせることで提供価値を拡大

◆高島グループの強みである多様性を活かしたシナジー・一体化の推進

◆グループの力を掛け合わせることでお客様へダントツの付加価値を提供

生産性向上



- ・基幹システム刷新と連動したビジネスプロセス改善によるコスト競争力の獲得

◆プロジェクトは予定通り進捗しており、2022年2月導入予定

- ・人材活性化に向けた人事制度大幅改定

◆2021年4月より新制度移行。キャリア型人材創出と持続的組織強化・成長へ

コーポレート・ガバナンス強化



- ・コーポレートガバナンス・コードの諸原則を踏まえた攻めのガバナンス体制の進化と社内浸透

◆親会社取締役会、経営会議の実効性向上

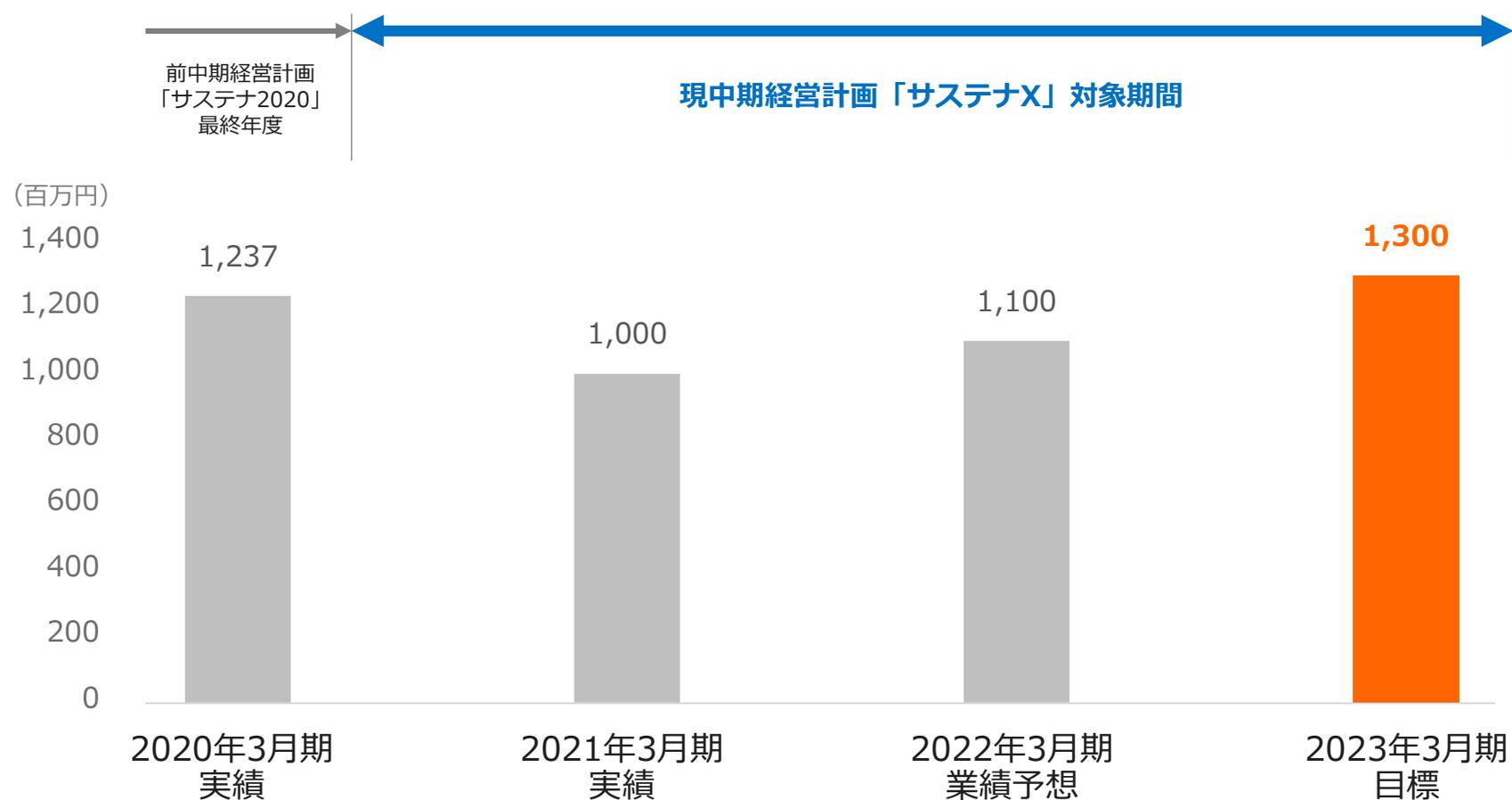
◆各事業本部、グループ会社の経営管理体制向上による自律性向上

4-6. 中期経営計画「サステナX（クロス）」_最終年度計数目標



最終年度計数目標『当期純利益13億円』に変更なし

当期純利益



本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な理由により変化する可能性があります。従いまして、本資料に記載された目標・予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。